

私には1歳になったばかりの娘がいます。下園先生の所に初めて来たのは娘が産まれて1ヶ月半を過ぎた頃でした。

出産後、里帰りもせず初めての育児だったので分からない事だらけでした。オムツの替え方、お風呂の入れ方、あやし方、ミルクの足し方、全てが手探りで毎日携帯と睨めっこしていました。携帯には色々なことが書いてあり、何を信じればいいのか分かりませんでした。とにかくこの小さくて壊れそうな命を守らなければと、ずっと家の中に引きこもり孤独と不安で押しつぶされそうな思いをしたのを覚えています。

そして1ヶ月検診の時の娘の体重を見てとてもショックを受けました。成長曲線の一番下のラインだったんです。毎日お腹減ってただろうな、可哀想なことをした、何てひどい母親なんだろう…と自分を責め続けました。

それからすぐミルクを増やしていたら、今度は乳腺炎で40度近い熱がでて病院へ行きました。そこで下園先生を紹介され、相談室へ通うことになりました。

初めて電話する時とても不安でした。

成長曲線ギリギリな事を怒られるんじゃないか。赤ちゃんの扱いが下手くそだと言われてしまうんじゃないか。母親失格と言われてしまうんじゃないか。とっていました。

「よく1人でここまで育てたね。」と言われた時に、娘は少しずつだけちゃんと成長してるんだなと初めて思えました。それまで足りない所ばかり見ていて、ちゃんと大きくなってることを見ていなかった事に気付きました。

育児は大変だとみんなから聞いていたのですが、まさか自分がおっぱいの事でこんなに悩むなんて思ってもいませんでした。

私は乳腺炎になりやすく、何度も予約日の前に診てもらってました。何度も熱が出て、娘を抱っこするのもつらい日々がありました。自分が疲れてる時には必ず乳腺炎になりました。

娘の誕生日をきっかけに断乳したので、そのつらかった時さえも今じゃ懐かしいです。

嫌になるくらいおっぱいで悩まされたはずなのに、断乳した時はとても寂しくなりました。もしかしたら娘よりお母さんの方が沢山泣いたかもしれません。

こうやって娘が1歳になるまで授乳できたのは下園先生のおかげだと思います。

娘の体重を見て母乳は諦めようと思った時もありましたが、最終的には完母になり無事に役割を終える事ができて本当に良かったと思います。

相談室に通っていて、いろんなお母さん達に会いました。みんないろんな悩みを持って子育てをしてました。子育てで悩まないお母さんなんていない事が分かりました。悩むのは我が子が心から可愛くて大事で仕方ないからだと思います。

下園先生はおっぱいの悩みもだけど、いろんなお母さん達の育児の悩みを一緒に考えながら心のケアもしてくれます。私自身もたくさん話を聞いてもらいました。相談室から帰る時にはいつも心が軽くなりました。

もうすぐ相談室を卒業なのでとても寂しいです。

いつか娘がお姉ちゃんになる時には、またお世話になり来ようと思います。